

**2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）**

2021年11月12日

上場会社名 株式会社ビーイングホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 9145 URL https://being-group.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 喜多 甚一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 松木 正康 TEL 076-268-1110  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年12月期第3四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年9月30日）

## (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	14,629	8.5	854	99.0	925	99.0	623	111.0
2020年12月期第3四半期	13,479	—	429	—	465	—	295	—

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 654百万円 (93.6%) 2020年12月期第3四半期 338百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	109.88	104.82
2020年12月期第3四半期	65.43	—

(注) 1. 当社は、2019年12月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 2020年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できないことから記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	13,780	4,075	28.4
2020年12月期	13,601	3,512	24.8

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 3,925百万円 2020年12月期 3,376百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	23.00	23.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2020年12月期の期末配当金20円には、記念配当5円を含んでおります。

## 3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,800	7.6	950	25.8	1,000	25.6	650	38.0	114.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	5,785,000株	2020年12月期	5,675,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	ー株	2020年12月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	5,675,401株	2020年12月期3Q	4,515,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その業績を保証するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済状況としては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が継続するなか、飲食店等への規制やワクチン接種の進展、外出自粛等の感染予防対策により直近では感染減少傾向に転じ、景気を持ち直しの期待が見られましたが、依然として緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の発出及び延長を受けた社会・経済活動の制限の影響から、引き続き厳しい状況で推移しました。

物流業界においては、外出自粛等の影響から家庭内消費が高まっており、食料品や家電製品等の取扱が好調に推移している一方で、外食産業やコンビニエンスストア等においては、時短営業や在宅ワーク等の影響から取扱量が減少傾向となっております。また、ECサイトの利用増加によって、宅配やデリバリーといった小ロット多頻度配送が増加の一途を辿っております。

このような社会情勢の下、当社グループは「生活物資に特化した物流への経営資源の集中投資」「関東から全国への展開を見据えた物流基盤の構築」「将来を見据えAI・ITを導入した物流システムの構築」の3つを成長戦略とした中期経営計画を推進しております。

当第3四半期連結累計期間においては、北陸地区において年初に大雪があり、数日間物流網の停滞が発生しましたが、顧客、社内の協力体制及び協力会社との連携によって、大きな損害や遅延もなく乗り切ることが出来ております。また、政府から緊急事態宣言が発出された状況下において、安定した取扱量となった一方で、飲食店やコンビニエンスストアでは、昨年度と比較すると取扱量が回復傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染症感染拡大前の状況と比較すると減少しており、引き続き厳しい状況が続いております。

そうした状況下において当社グループでは、前年に移働した新規業務を堅調に推移させており、昨年度から取り組んでおりました既存業務の見直しによる作業効率の改善と自社雇用比率を継続して向上させたことにより、堅調に収益率を向上させております。2月には既存業務の配送効率向上を図るため、新たに「成田TC」を開設、5月には東北エリアでの業務拡大に伴い、「南東北TC」を分割し、「北上TC」、「郡山TC」、「仙台TC」の3センターを開設、9月には新規業務の受託に伴い、「新潟日配センター」、「長岡日配センター」の2センターを開設しております。また、福井地区での業務拡大に向けて既存の物流施設を統合する自社センター「福井SCMセンター」を9月に竣工しております。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における経営成績は、営業収益14,629百万円（前年同期比8.5%増）、営業利益854百万円（前年同期比99.0%増）、経常利益925百万円（前年同期比99.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益623百万円（前年同期比111.0%増）となりました。

なお、当社グループは「物流事業」を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は6,278百万円となり、前連結会計年度末に比べ700百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が523百万円及び営業未収入金が291百万円減少したことによるものであります。固定資産は7,502百万円となり、前連結会計年度末に比べ879百万円増加いたしました。これは主に福井SCMセンターへの設備投資により建物及び構築物が956百万円増加した一方でリース資産が138百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、13,780百万円となり、前連結会計年度末に比べ178百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は4,795百万円となり、前連結会計年度末に比べ210百万円減少いたしました。これは主にその他流動負債が331百万円増加した一方で、営業未払金が266百万円、短期借入金が150百万円及び未払費用が126百万円減少したことによるものであります。固定負債は4,909百万円となり、前連結会計年度末に比べ174百万円減少いたしました。これは主にリース債務が148百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、9,704百万円となり、前連結会計年度末に比べ384百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,075百万円となり、前連結会計年度末に比べ563百万円増加いたしました。これは主に資本金が21百万円、資本剰余金が21百万円及び利益剰余金が510百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は28.4%（前連結会計年度末は24.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の通期連結業績予想については、2021年2月12日付けで公表した通期連結業績予想を修正しております。詳細については、2021年9月15日付けで公表した「通期連結業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、現在の連結業績予想の修正が必要になった場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,423	3,900
営業未収入金	2,354	2,063
その他	213	324
貸倒引当金	△13	△10
流動資産合計	6,978	6,278
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,855	3,811
機械装置及び運搬具（純額）	248	292
土地	2,125	2,139
リース資産（純額）	858	719
建設仮勘定	18	18
その他（純額）	23	17
有形固定資産合計	6,129	6,999
無形固定資産	58	52
投資その他の資産	434	450
固定資産合計	6,623	7,502
資産合計	13,601	13,780

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	1,562	1,295
短期借入金	150	—
1年内償還予定の社債	14	14
1年内返済予定の長期借入金	1,372	1,434
リース債務	301	297
未払費用	771	645
未払法人税等	214	156
その他	618	950
流動負債合計	5,005	4,795
固定負債		
社債	7	—
長期借入金	4,135	4,141
リース債務	684	535
退職給付に係る負債	63	62
その他	192	169
固定負債合計	5,083	4,909
負債合計	10,089	9,704
純資産の部		
株主資本		
資本金	639	661
資本剰余金	592	613
利益剰余金	2,106	2,616
株主資本合計	3,338	3,891
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38	33
その他の包括利益累計額合計	38	33
非支配株主持分	135	150
純資産合計	3,512	4,075
負債純資産合計	13,601	13,780

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
営業収益	13,479	14,629
営業原価	12,285	12,945
営業総利益	1,194	1,684
販売費及び一般管理費	764	830
営業利益	429	854
営業外収益		
受取利息及び配当金	3	3
受取保険金	8	41
助成金収入	21	26
その他	30	27
営業外収益合計	63	98
営業外費用		
支払利息	25	23
その他	2	4
営業外費用合計	28	27
経常利益	465	925
特別利益		
固定資産売却益	11	6
特別利益合計	11	6
特別損失		
投資有価証券評価損	5	—
その他	0	—
特別損失合計	5	—
税金等調整前四半期純利益	470	932
法人税等	144	272
四半期純利益	326	659
非支配株主に帰属する四半期純利益	30	36
親会社株主に帰属する四半期純利益	295	623



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	326	659
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	△5
その他の包括利益合計	11	△5
四半期包括利益	338	654
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	307	618
非支配株主に係る四半期包括利益	30	36

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

当社は「物流事業」及び「その他」を営んでおりますが、「その他」のセグメントの営業収益、利益又は損失の金額及び資産の額がいずれも事業セグメントの合計額の10%未満であり、報告セグメントが1つであるため記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年9月30日)

当社は「物流事業」及び「その他」を営んでおりますが、「その他」のセグメントの営業収益、利益又は損失の金額及び資産の額がいずれも事業セグメントの合計額の10%未満であり、報告セグメントが1つであるため記載を省略しております。